

「奥出雲町の買い物環境に関するアンケート調査」 の結果概要について



農林水産省農林水産政策研究所
奥出雲町役場政策企画課

アンケート調査について

奥出雲町では全ての住民が日常生活において、安心して食料品を調達できる環境の維持・確保に向けて、農林水産省農林水産政策研究所と包括連携協定を締結しました。その一環として、奥出雲町の住民のみなさまがどのような買い物環境に直面しているのかアンケート調査(2024年12月から2025年1月にかけて実施)に基づき把握を試みました。調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。調査の結果概要についてお知らせいたします。



奥出雲町でみなさんは「どこで」買い物をしているのか？

アンケート調査では約3,400戸に調査票を配布し、1,201戸から回答を頂きました。その中で、日常生活における食料品と日用品の買い物先について、頻繁に利用する店舗を1番目から3番目まで具体的に回答してもらいました。その集計結果(表1)をみますと、上位5店舗は町内に立地しており、住民のみなさまが**町内店舗での買い物**を通して日常生活を送っている事が分かります。また、2・3番目に利用する店舗ではドラッグストアの利用割合が高まっており、みなさまが**購入品目に応じて利用店舗を使い分けている**実態も明らかとなりました。

(表1) n = 700

店舗名	業態	立地	1番目	2番目	3番目
1. 横田蔵市	スーパーマーケット	奥出雲町下横田	25.9	23.7	11.3
2. 仁多ショッピングセンターサンクス	スーパーマーケット	奥出雲町三成	24.4	10.4	7.3
3. Aコープよこた店	スーパーマーケット	奥出雲町横田	15.7	11.9	10.9
4. ウエルネス横田店	ドラッグストア	奥出雲町下横田	11.3	22.4	16.0
5. 阿井食品センター下阿井店	スーパーマーケット	奥出雲町下阿井	4.1	2.0	1.1
6. スーパーセンタートライアル雲南店	ショッピングセンター	雲南市加茂町	3.6	0.3	0.3
7. グッデイ木次店	スーパーマーケット	雲南市木次町	2.1	1.7	0.0
8. ドラッグストアコスモス大東店	ドラッグストア	雲南市大東町	1.3	0.3	0.3
9. ファミリーマート奥出雲横田店	コンビニエンスストア	奥出雲町下横田	1.1	1.0	2.6
10. Aコープだいとう店	スーパーマーケット	雲南市大東町	0.9	1.1	0.6

今後求められる対策について

奥出雲町では、多くの方々町内で買い物をしている状況が把握された一方で、**将来の買い物環境に不安**を感じているとの意見も数多く寄せられていました。また、ほとんどの方が**買い物環境は奥出雲町に住み続けるうえで重要な要素**であると認識していました。

現状、住民の多くが町内店舗を利用している状況ではありますが。今後も買い物環境を維持していくうえでは、住民一人一人が地域のサポーターであるという認識のもと、**町内店舗を積極的に利用し、買い支えていく意識が大変重要**になります。



忘れていませんか？ 国保加入・喪失の手続き

令和6年12月2日に現行の健康保険証は、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行されましたが、マイナ保険証を持っていても、国保に加入するときや、やめるときは、**これまでどおり届出が必要です。**
必ず14日以内に届出をしましょう。

※自動的には変わりませんので、必ず手続きが必要です。

また、他の保険加入後に国保喪失手続きをしないまま医療機関にかかること、国保で負担した費用を全額返還していただくことになり、**ますのでご注意ください。**

お問い合わせ

健康福祉課保険係

電話：54-2511

有線：31-5000 (内線5123)



ecology

タレントと広がる アップサイクルの取組み

アップサイクル(Upcycle)とは、廃棄予定の製品や端材にデザインやアイデアといった付加価値を加え、より高品質で新たな価値を持つ製品へと再生する取組みです。近年、タレントや著名人によるアップサイクルの実践や発信が広がっています。

ブランドを通じた取組み

タレントのみなさんは、自身の衣装をリメイクした一点物商品を販売。また、ギタリストのCharisanさんがライブで着用した衣装をギターストラップやトートバッグなどへアップサイクルした商品をコラボ展開。松山ケンイチさんと小雪さん夫妻のブランドでは、有害鳥獣駆除の副産物として廃棄されがちな鹿・猪・熊の皮を活用し、帽子や手帳カバーなどに利用しています。

企業とのコラボレーション

田中律子さんは、廃棄されるバナナの茎から生まれた素材「BANANA CLOTH」を使用した商品を監修。藤本美貴さんは、100円ショップ「ワッツ」と協働し、環境配慮素材を使った商品の企画に携わっています。

ファッション業界の取組み

環境負荷が大きいとされるファッション業界においても、マリエさん、森星さん、加藤ジーナさんが、サステナブルなライフスタイルをSNS・メディアを通じて発信し、環境問題への関心を広げています。アップサイクル商品は高価格帯となりますが、タレントの発信を通じて、持続可能な社会への考え方や姿勢に触れる機会が広がっています。

なお、規格外野菜や形崩れした食品を加工品にして販売することもアップサイクルの一例です。そう考えると身近なところでも取組みは広がっています。

横田高校

横田高校、文化系も頑張っています！

横田高校の活動をお知らせする「YouTuber」

2月9日(月)～3月1日(日)に、横田高校昇降口のコンスペースにて、校内美術展を開催しました。12月に県立美術館で開催された「島根県高校美術展」に出品した美術部の作品や、美術の授業で1・2・3年生が制作した作品など、合計約100点を展示しました。美術部は、50号の油絵作品のほか、今夏に秋田県で開催される「全国高校総合文化祭」への出品が決まっている立体作品「測り知れぬオロチの心」などを展示しました。ヤマタノオロチを表現したこの立体作品は、廃材のプラスチックを大量に用いた共同制作によるものです。

また、授業作品では「感謝のお弁当」というテーマで、日々お弁当を作ってきた保護者の方に対して生徒の感謝の気持ちを表現した黒板アートを展示しました。卒業式当日まで展示を行い、保護者の皆様にもご覧いただく機会を設けました。

また3月20日(金)には横田コミュニティセンターにて、吹奏楽部の定期演奏会の開催を予定しています。昨年、中国大会で金賞を受賞した吹奏楽部は、その後も日々研鑽を重ねており、今年度の集大成となる演奏会です。横高吹奏楽部の音色が地域の方の心に届くよう、当日は最高の演奏ができるようベストを尽くしたいと思っております。

